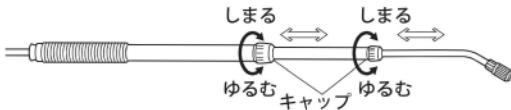




## つかいかた

### ① ノズルを調整します

- キャップをゆるめるとノズルの長さは43~100cmまで自由に調節できます。



### ② 本体のスイッチを「切」にして、電池を入れます

- 電池ケース取り出しボタンを押して、電池ケースを取り出し、電池を入れてください。

**△ 注意**

乾電池の $(+)$ (プラス)、 $(-)$ (マイナス)は、正しく入れてください。次のような乾電池の組合せでの使用はしないでください。使用後は必ず乾電池を抜いて保管してください。  
●充電電池・アルカリ電池・マンガン電池の混用  
●メーカー違いの電池の混用  
●新しい電池と古い電池の混用



### ③ 薬剤を入れます

- 別の容器で、薬剤を水に十分溶かしてからタンクに入れてください。特に石灰硫黄合剤・水和剤は、溶かし方が不十分ですとポンプの性能に悪影響を及ぼしますのでご注意ください。

**△ 注意**

薬液は規定容量以上入れないでください。  
前回使用した薬剤が残っていないか確認してください。化学反応を起こし、有毒ガスが発生する危険があります。

#### ●溶かす薬剤のめやす

水	薬剤 (ccまたはg)		
	500倍にうすめるとき	1,000倍にうすめるとき	2,000倍にうすめるとき
1L	2cc	1cc	0.5cc
2L	4cc	2cc	1.0cc
3L	6cc	3cc	1.5cc
4L	8cc	4cc	2.0cc
5L	10cc	5cc	2.5cc

5



### ④ 敷布します

- 本体のスイッチを「入」にすると散布します。

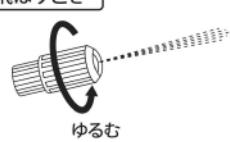
#### 霧の調整方法

##### 広範囲に散布するとき



この部分を指で押さえ噴口をまわす

##### 遠くへ飛ばすとき



<b>△ 注意</b>	散布の際は薬液が対象物以外にかかるないように風向きや周囲の状況に十分注意してください。
	ご使用途中で運転を止め、置いておく場合はノズルの先端をタンクより上にしてください。(液漏れ防止)
	余った薬液をタンクに入れたまま長時間放置しないでください。各部品が痛み、製品寿命が短くなります。

### ⑤ スイッチを切ります

- 本体のスイッチを「切」にすると、停止します。



6

## 使用後のお手入れ

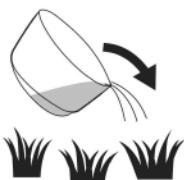
動画を見る



本体には水をかけないでください。  
故障の原因となります。

タンクの外し方は次ページをご覧ください。

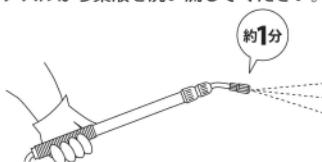
1. タンクに残った薬液を抜いてください。



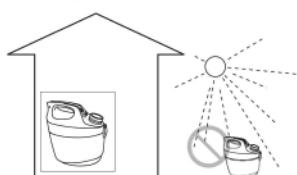
2. 本体裏側に付いている薬液を布などで拭き取り、タンクに清水を入れてください。



3. 約1分間噴霧し、タンク、ポンプ内部、ホース、ノズルから薬液を洗い流してください。



4. 箱などに入れ直射日光や雨水を避けて保管してください。



清水で水洗いをせずに故障した場合は、保証の対象外です。

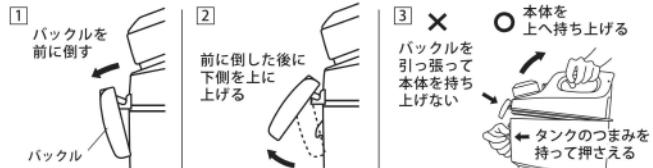
## 長期間ご使用にならない場合

上記の方法で水洗いした後、電池の液漏れ防止のため、電池を抜いて保管してください。

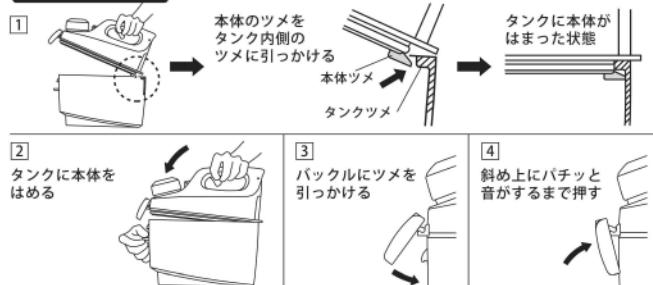
**△ 注意**

タンク、ポンプ及びノズル内の薬液を完全に抜いてから保管してください。  
薬液が固まつたり、凍結し故障の原因となります。また、タンクがノズルより上にある場合、残った薬液がノズルから溢れ出ることがあります。(サイフォン現象)

## タンクの外し方



## タンクのはめ方



## パーツのご注文は

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。

パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。

弊社公式 Web サイトにてパーツ表、価格をご覧いただけます。

ご注文時のお願い 部品番号(7~9桁)または機種名・JAN、  
名称、必要な個数を正しくお伝えください。

パーツ表・単価 <http://www.koshin-ltd.co.jp> にアクセス



#### ■ パーツリスト

トップページの「パーツリスト」バナーをクリック

